



スイス・ユーラ社製全自動コーヒーマシン用ミルククーラー

Cool Control 1.0L

クールコントロール1.0L ロック機能付
取扱マニュアル



ユーラ
クールコントロール 1.0L
ユーザーサポート

Cool Control 1.0L



- ミルクレベル（残量）センサー
- 外蓋ロック機能
- 主要部品食洗機対応

はじめてご使用になる際や製品を移動した際は裏表紙の
ミルク残量計のキャリブレーション
を必ずおこなってください

ご使用前に中面の
重要情報・安全に関する注意事項
を必ずお読みください

【重要情報】

適切な使用

本機は、ご家庭や類似した環境（例：ホテル内客室、住宅用建物、小規模な店舗やオフィス等）でご使用いただくよう設計され、付属のステンレス製ミルクコンテナに入れたミルクを保冷するための製品です。その他の目的でのご利用は不適切なご使用方法とみなし、それにより生じた結果に対する責任を Jura 社ならびに販売代理店が負うことはできません。

本機を使用する前に必ず本取扱説明書を最後まで全てお読みになり、記載された指示に従ってください。本取扱説明書の指示に従わないご使用に起因する損傷または欠陥については保証適用外となります。

本取扱説明書は常に本機のそばに保管し、所有者が変わる場合は必ず次のユーザーにお渡してください。

【安全に関する注意事項】

以下の重要な安全情報を注意深くお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

致命的な感電を避けるため：

- ・電源コードが破損、欠損した状態で本機を使用しないでください。
- ・濡れた手で本機を取り扱わないでください。
- ・本機を起動する前に、電源コードに水濡れがないかご確認ください。
- ・付属の電源コードと異なるコードはご使用にならないでください。
- ・焦げた匂い等損傷の兆候が発生した場合は直ちにコンセントから電源コードを抜き販売代理店にご連絡下さい。
- ・付属の電源コードに損傷が生じた場合は販売代理店にて本機専用のコードをご入手ください。
- ・本体及び電源コードは高温になる機器や裸火の近くではご使用にならないでください。
- ・電源コードは足に引っ掛かりやすい状況や、鋭利な面に擦れる状況ではご使用にならないでください。
- ・ご自身での修理は絶対におやめください。本説明書に記載外の取扱、いかなる改修もおやめください。
- ・本機内部には帯電部があります。修理は正規部品を持つ Jura 社の販売代理店のみが行います。

欠陥・不具合のある製品のご使用はけがや火災の原因となります。

けがや火災による損害および関連するリスクを避けるため：

- ・換気スロットを塞がないよう通気を確保してください。
- ・電源コードはコンセントにしっかりと挿し込んでください。差し込みが不安定な状態ではつまずく危険や付随した損傷の原因となる可能性があります。
- ・雨、霜、直射日光等に晒される環境はお避けください。
- ・本体及び電源コード、接続部は水に浸さないでください。
- ・本体を食洗器に入れないでください。
- ・洗浄やお手入れの際は本体の電源を切り、電源コードを抜いてください。本体はなるべく固く絞った布で水拭きします。
- ・長期に水しぶきがかかる場所でのご使用はお避けください。
- ・ミルクは付属のステンレス製ミルクコンテナに入れて冷やします。決して本体に直接ミルクを入れないで下さい。
- ・本機内にスプレー缶のような可燃性推進剤を含む物質を置かないでください。
- ・本体底部に電源電圧情報を記載した定格プレートがあります。こちらの記載と異なる電源への接続は絶対におやめください。

長期にご不在の場合（本機をご使用にならない場合）は電源を切り、電源コードを抜いてください。

お子さまが本機を操作する場合は責任者の監督下をお願いします。

責任者の監督がない状況でお子さまが洗浄やお手入れをすることはおやめください。

お子様が本機で遊ばないようにしてください。

テクニカルデータ

電圧 100-240V、50/60 Hz / 定格電力：25W / ケーブル長：約 1.8m

容量：約 1.1ℓ（満水時） / 重量：約 2.4 kg / 寸法：WxHxD 14.5 x 19 x 26cm

周辺温度 +16°Cから +43°Cまでの条件下で最大で -25°C低く冷却します。（最低温度 4°C）

【各部名称】

● = 食器洗浄機対応部品



1 : クールコントロール本体

2 : 電源コード (J76052)

3 : ミルクコンテナ フタ (外蓋) (J75331)

4 : フタロック専用キー (J74411)

5 : ミルクコンテナ保管用フタ (J75344)

残ったミルクを一時的に他の冷蔵庫等で
保管する際にご使用ください

6 : シリコンリング (J75337)

7 : ステンレス製ミルクコンテナ (J75332)

8 : メタルパイプ (J75334)

9 : アダプター (J74402)

10 : ジョイント (J72249)

11 : ミルクホース (J73386)

12 : (下図) 操作パネルカバー (J75335)

A : ミルク残量計

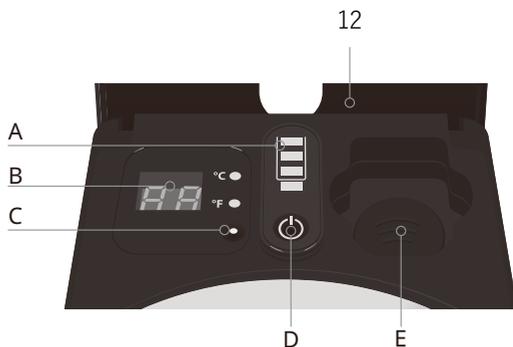
B : 温度表示

C : キャリブレーションボタン

D : オン/オフ ボタン

E : ワイヤレスインターフェイス

(要別売オプション)



1. セットアップ

安定した水平な台にセットします。不安定な場所ではミルク残量計が正しくはたらかしません。高温になる場所や水気の多い場所は避け、換気スロットの通気を確保してください。はじめてご使用になる際は本体外側と内側を固く絞った布で水拭きします。ミルクコンテナも清潔な水でよくすすぎ乾かします。電源コードを本体に取りつけ、プラグをコンセントに差し込みます。

警告：電源コードが破損・欠損した状態で本機を使用した場合、命にかかわる感電の危険性があります。欠陥のある電源コードで本機を使用しないでください。

2. 必須：ミルク残量計のキャリブレーション ※裏表紙 (P08) にてより詳しくご説明しています

ミルク残量計は重量に基づいて計算されるため

初めてご使用になる前に必ず内部スケールの初期設定を行います。

- ・本体からミルクコンテナとそのフタを取り外します。
- ・操作パネルカバーを開き、オン/オフボタンを押して電源を入れます。
- ・ピッという音が鳴るまでキャリブレーションボタンを押し続けます(約2秒)

3. ミルクコンテナの準備

メタルパイプをアダプタに挿入します。

アダプターをミルクコンテナにセットします。

4. ミルクを冷やす

ミルクコンテナに冷たいミルクを入れ本体にセットし、フタをします。

5. ホースの接続

コーヒーマシン本体付属のミルクシステムにセットされているミルクホースをクールコントロールのアダプターに接続します。(接続にはジョイントが必要です。)

オン/オフボタンを押して電源を入れます。

ミルク取扱の衛生について：

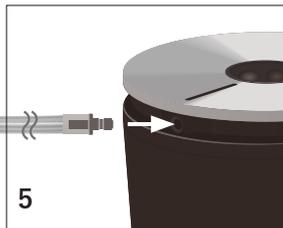
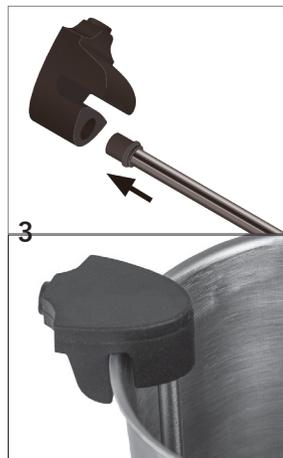
- ・腐敗のおそれがありますので容器にミルクを継ぎ足し続けたり、長期保管しないでください。
- ・ご使用後コンテナ内にミルクがまだ残っている場合は付属の保管用フタをするか、別の容器に移すなどして冷蔵庫等で保管してください。
- ・ミルクコンテナは毎日必ず洗浄してください。

クールコントロールの使用に関する情報：

- ・内部スケールの正確性を保つため、本機の上は何も物を置かないでください。
- ・本機は節電のためミルクコンテナを本体から外すとすぐに冷却を停止します。
- ・電源を切るときはオン/オフボタンを押します。
- ・完全にご使用にならない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

ミルク温度：

本機は周辺温度よりも最大で -25°C 冷却します。ただし最低温度は 4°C のためミルクが凍結することはありません。操作パネルカバーの下にミルク温度表示計があり、摂氏 ($^{\circ}\text{C}$) または華氏 ($^{\circ}\text{F}$) から表示が選べます。表示を切り替えたい場合はオンオフボタンを約 5 秒長押ししてください。準備が整うと信号音が鳴りミルク残量計が赤く点灯します。



コーヒン
マシ
ン
本
体
付
属
の
ミ
ル
ク
シ
ス
テ
ム
に
接
続

こちらの形状の→
ミルクシステム
をご使用の場合

(例：E6/WE8/F50)

この↑ミルクシステム側
ジョイントは本製品に同
梱されていません。元々
ご使用のものをお使い頂
くか、品番J69490にてご
注文ください。

フタのロック

異物の混入や予期せぬアクシデントを未然に防ぐため本製品のフタに専用キーでロックをかけることができます。

ミルクコンテナフタ（外蓋）中央のくぼみにフタロック専用キーを挿し込みます。

時計まわりに回すとロックがかかります。

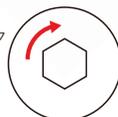
反時計まわりに回すとロックが解除されます。

※専用キーを紛失された場合は販売代理店にご注文ください。

フタロック専用キー
品番J74411



ロック



ロック解除



一時保管用フタ

コンテナ内に残ったミルクを一時的に冷蔵庫で保管する際や、予備のミルクを用意しておく際などに、ほこり等の混入や匂い移りをさけるための保管用フタです。コーヒーマシンに接続時には使用しません。（このフタがあると本体の外蓋が閉められません）

なお、衛生上ミルクの継ぎ足しはおこなわず、ステンレスコンテナに移し替えてから24時間以内に使いきるようにしてください。



クリーニングとお手入れ

お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜き、ミルクコンテナを取り外します。

固く絞った布で本体の内側と外側を水拭きします。

ミルクコンテナからシリコンリングとアダプタ、メタルパイプを取り外し中性洗剤を使用してそれぞれを良く洗います。

以下の部品は食洗器にも対応しています：

ミルクコンテナ（シリコンリング含）、

ミルクコンテナフタ（外蓋）、アダプター、メタルパイプ

※研磨剤入りの洗剤やスポンジ、硬い素材のものは使用しないでください。

機器の表面を傷つけたりコーティングがはがれてしまう可能性があります。



こんなときは

ご使用中にミルク残量が正しく表示ができなくなった場合は裏表紙（P08）の「ミルク残量計のキャリブレーション」を参照し、再度設定をしておいてください。

重要・必須

ミルク残量計のキャリブレーション

- 初めてお使いになるとき
- 残量表示と実際のミルク量があっていない
- 場所を移動した ●久しぶりに使用する

以下手順を参照しキャリブレーション（内部計器の初期設定）を実施してください



- 1 電源コードを接続し、本体からフタとミルクコンテナを取り外します。
- 2 操作パネルカバーを開き製品の電源を入れます。
- 3 キャリブレーションボタンを約2秒間（ピッと音がするまで）長押しします。指を離すとピッと短く音が鳴り、ミルク残量ランプが赤く点灯。ミルクがない状態の重さ（基準点）を記憶します。
- 4 P.05、手順3～を参照してアダプタ、パイプを取り付け、ミルクコンテナに冷たい牛乳を入れて本体にセット、フタをします。ミルクホース両端をコーヒーマシン付属のミルクシステムとアダプタに接続してご使用を開始してください。